

社名	(発行等支援)業務概要	(発行等支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	取扱商品	連絡先
株式会社ESGコンサルティング	株式会社ESGコンサルティングは2021年に創業し、ESG／サステナビリティ領域のコンサルティングサービス、第三者保証業務を行っています。 当社は長年にわたり培ったESG経営に関する知見をもとに、お客様企業のサステナブルファイナンスの取り組みを支援します。 具体的には、サステナビリティ・リンク・ローンの組成に当たり取得が推奨される外部レビューに関してセカンドパーティーオピニオン(SPO)を提供することを通じて支援を実施します。 監査法人系サステナビリティファームの出身者で構成する当社メンバーは、マテリアルな課題の特定プロセスに深い理解を有し、当該理解に基づき実施するKPI/SPTsの評価はウォッシュの排除に寄与します。 また、当社はGXリーグの検証機関としても登録されるなど、第三者保証業務の提供も行っております。SPOからサステナビリティ・リンク・ローンで要求される第三者保証の提供までを一貫して行うことにより、KPI/SPTsの検討内容と整合的な第三者保証の提供が可能です。	1. ローン実行時の基準年排出量の第三者保証(不動産業、2022-2024年履行) 2. ローン実行後の第三者保証(不動産業、2022-2024年履行) 3. ローン実行時の基準年排出量の第三者保証(建設業、2023-2024年履行) 4. ローン実行後の第三者保証(建設業、2023-2024年履行)	https://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R8.pdf	株式会社ESGコンサルティングは、「ESGをもっと面白く、もっと当たり前。」を企業目標として掲げ2021年に設立されました。分かりやすくかみ砕いた説明により、ESGをもっと面白いものと感じていただき、より良い行動につなげていただくことを目指しています。 当社は、サステナビリティ・リンク・ローンに関して、実行後の第三者保証業務に加え、セカンドパーティーオピニオンの提供を行います。	<input type="checkbox"/> GB <input type="checkbox"/> SusB <input type="checkbox"/> SLB <input type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> SLL	部署名：アドバイザー事業部電話番号：06-7777-3261 E-Mail： info-esg@esg-consulting.co.jp HPアドレス： https://esg-consulting.co.jp/
株式会社格付投資情報センター	格付投資情報センター(R&I)はグリーンボンド等支援業務(外部レビュー)として「セカンドオピニオン」と「R&Iグリーンボンドアセスメント」を提供いたします。両者を併せて提供することがあります。 <セカンドオピニオン> グリーンボンド等の発行のために企業等が策定するフレームワーク、あるいはフレームワークに基づいて実施する個別ファイナンスについて、評価対象が関連する各種原則等に適合しているかを確認します。評価対象とするグリーンファイナンス、サステナビリティファイナンス、サステナビリティリンクファイナンスでは、外部評価を取得することが推奨されています。R&Iはこの外部評価をセカンドオピニオンとしてご提供します。セカンドオピニオンを提供する対象には、国際資本市場協会(ICMA)のグリーンボンド原則原則等の国際的な原則のほか、環境省グリーンボンドガイドライン等の国内ガイドラインがあります。 <R&Iグリーンボンドアセスメント> グリーンボンド発行のために企業等が策定するフレームワークについて、グリーンボンド原則、環境省グリーンボンドガイドラインへの適合性を確認するとともに、グリーンボンドで調達された資金が環境問題の解決に資する程度を符号で評価します。グリーンボンドが消滅する時点、又は、そのR&Iグリーンボンドアセスメントの符号を取り下げる時点まで、レポートがフレームワークに則って実施されているかをモニタリングします。 <評価方法の開示> 評価方法の詳細は以下のリンクをご覧ください。 https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html	◇発行支援の実施件数と支援対象の資金調達者 (評価レポートを公表した先。五十音順) 【2024年度】 <グリーンボンド／ローン、サステナビリティボンド> 10件 稲畑産業、近鉄グループホールディングス、住友三井オートサービス、第一化成、田中組、南丹清掃、日鉄興和不動産、日本空港ビルディング、阪急阪神ホールディングス、別川製作所 <サステナビリティリンクボンド／ローン> 9件 鹿島建設、熊谷組、小坂工務店、大日本印刷、戸田建設、日本エンジン、野村不動産ホールディングス、丸洋建設、ヤマチュウ食品 【2023年度】48件 【2022年度】21件 【2021年度】27件 【2020年度】13件 【2019年度】11件 【2018年度】8件 (参考情報) 発行支援を含むESGファイナンス評価の実績は以下のリンクをご覧ください。 https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html	http://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R2.pdf	R&Iは2016年に日本の事業会社による初のグリーンボンドに「R&Iグリーンボンドアセスメント」を提供して以来、ESGファイナンスの外部評価の先駆者としての役割を担ってきました。2022年には金融庁「ESG評価・データ提供機関に係る行動規範」への賛同を表明し、評価会社としての役割を果たすべく積極的に取り組んでいます。R&Iは今後もESGファイナンス評価とESG関連サービスを強化し、国際資本市場の発展に貢献していきます。	<input checked="" type="checkbox"/> GB <input checked="" type="checkbox"/> SusB <input checked="" type="checkbox"/> SLB <input checked="" type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> SLL	部署名：サステナブルファイナンス本部 電話番号：03-6273-7694 E-Mail： esg@r-i.co.jp HPアドレス： https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html

社名	(発行等支援)業務概要	(発行等支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	取扱商品	連絡先
Codo Advisory株式会社 (Codo Advisory, Inc.)	<p>当社は、フランス政府機関ADEMEが開発した移行計画策定メソッドロー「ACT (Assessing Low Carbon Transition)」において、日本初のライセンスコンサルタントとして認定されており、実効性および信頼性の高い脱炭素移行計画の策定支援を強みとしております。</p> <p>ACTは、ICMA (国際資本市場協会) が企業のトランジション評価において、GFANZやTPTと並び最も整合性の高い評価ツールとして公表しているものです。当社では、グリーンボンド等に関する支援業務においても、ACTの評価軸を参考に独自開発したESG評価基準を活用し、プロジェクトがサステナビリティの進展に寄与する理由、または寄与しない理由について、網羅的かつ定性・定量の両面から明確に示すことを可能としています。</p> <p>さらに、網羅的な情報収集に基づき、正確かつ公平な分析・評価を行い、国内外の関連基準に準拠した評価を実施いたします。当社は統合的かつ明瞭な評価提供を重視しており、可能な場合には独自のSDGs評価指標も加えることで、第三者にも分かりやすく、より高い信頼性を持つ評価を提供しております。</p>	<p>＜サステナビリティ・リンク・ローン＞ 信用金庫のファイナンスフレームワークの第三者評価 山口重工業：第三者評価</p>	<p>https://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/C9.pdf</p>	<p>当社は、日本企業の気候変動対策を経営戦略と整合させ、信頼のおける脱炭素移行戦略を提供する企業として、独立系オルタナティブ投資運用会社であるMCPジャパン・ホールディングスと総合環境ソリューション企業であるアミタホールディングスの合弁会社として設立。移行計画ツールとして定評のあるACTを活用し、脱炭素実現に向けたトランジション推進のための金融支援を遂行します。</p>	<p>☑ GB ☑ SusB ☑ SLB ☑ GL ☑ SLL</p>	<p>部署名：サステナビリティコンサルティング部門 電話番号：092-409-4337 E-Mail：contact@codo.jp HPアドレス：https://codo.jp/transition-finance-jp/</p>
ソコテック・サティフィケーション・ジャパン株式会社	<p>ソコテック・サティフィケーション・ジャパン (以下ソコテック) はフランスに本部を置き建設およびインフラ分野における試験、検査、認証 (TIC) のサービスを26か国以上で提供するSOCOTECグループの日本法人です。SOCOTECグループは設立以来70年以上にわたってTIC事業を展開しています。ソコテックは2009年からGHG排出量の検証事業をスタートし、環境や持続可能性に関する豊富な専門知識と経験を持つ第三者機関であり、企業や金融機関のサステナブルファイナンス活動を客観的に評価し、信頼性を向上させる役割を担っています。</p> <p>ソコテックは排出削減量の認証を行う「J-クレジット制度」における妥当性確認、検証においてトップシェアでサービスを提供しており、再生可能エネルギーや農林水産事業、森林吸収量、省エネ・燃料転換、廃棄物に至るすべての分野で審査可能な唯一の機関として登録されており、ISO14065 (温室効果ガス検証機関に対する要求事項) の認定をJAB (日本適合性認定協会) より受けている機関です。これらの実績はサステナブルファイナンスに関する外部機関としても様々なプロジェクトの評価を行う上で有効に機能します。</p> <p>気候移行計画の作成や、企業の脱炭素、サステナビリティ社会の実現に向けた長期戦略の策定と実施が期待される中で、ソコテックはサステナブルファイナンスの外部レビュー事業をスタートしました。企業のGHG排出量、非財務情報に関する評価、検証など多岐にわたる審査・検証サービスの実績と技術に基づいたソコテックの評価は、ウォッシュの排除、市場の透明性と信頼性向上、投資家や企業による持続可能なビジネス活動に貢献します。</p>	<p>【ソコテック・サティフィケーション・ジャパン株式会社の実績事例】</p> <p>＜サステナビリティ・リンク・ローン＞</p> <p>①株式会社北拓 (ローン実行時の基準年排出量の検証／ローン実行後の検証) ②三菱地所・サイモン株式会社 (ローン実行後の検証) ③九州旅客鉄道株式会社 (ローン実行後の検証) ④株式会社ライフコーポレーション (ローン実行後の検証)</p> <p>＜トランジション・リンク・ローン＞</p> <p>⑤北海道電力株式会社 (ローン実行後の検証)</p> <p>詳細はこちらをご参照ください。 https://socotec-certification-international.jp/esg/sustainablefinance</p>	<p>https://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R7.pdf</p>	<p>SOCOTEC Certification Japanはフランスに本社を置くSOCOTECグループの日本法人であり、企業のGHG排出量、非財務情報に関する評価、検証など多岐にわたる審査・検証サービスを通して、持続可能な社会の実現に貢献しています。サステナブルファイナンス外部評価の実施に際しては、第三者機関として積み重ねた実績に加えて、ESGに関連する専門的知見をもとに質の高いサービスをご提供します。</p>	<p>☑ GB ☑ SusB ☑ SLB ☑ GL ☑ SLL</p>	<p>部署名：サステナビリティ・サービス部門 電話番号：03-3516-2417 E-Mail：sustainability@esg.socotec.co.jp HPアドレス：https://www.socotec-certification-international.jp/esg/sustainablefinance</p>

社名	(発行等支援)業務概要	(発行等支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	取扱商品	連絡先
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社	DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン(以下DNV)は、グリーンボンドやサステナビリティボンド等、ESGファイナンス全般に対するセカンド・パーティ・オピニオンの提供をしております。 DNVは自主独立した第三者機関としてグローバルな活動を展開しており、国内では2018年から環境省グリーンボンド補助事業の制度開始当初から外部レビュー機関として登録・参画してきました。昨今ではグリーンだけでなく、ソーシャル、サステナビリティ、トランジションのESG要素とボンド、エクイティ、ローンなどの金融商品を組み合わせたESGファイナンス評価サービスを展開しており、多様な変化に柔軟に対応できる、技術に強い外資系評価機関として一定の地位を築いて参りました。 DNVはグリーンや、ソーシャル、トランジションのウオッシュの無い市場環境を維持する、という外部レビュー機関の重要な役割と責任を担いつつ、日本国内におけるさらなる環境支援活動や、持続可能な社会の発展に貢献していく決意を新たに、グローバル環境の改善による持続可能な社会の実現に加え、ESGファイナンスの発行体、借り手企業の社会的責任の達成や、更なるESGプロジェクト拡大の支援を行います。	・DNVグローバルで200件以上の実績があります。 ・以下国内の代表的な事例です。 グリーンボンド/ローン/エクイティ 日立造船株式会社／大王製紙株式会社／株式会社明電舎／株式会社大林組／東北電力株式会社／株式会社小松製作所／ENEOSホールディングス株式会社／東京ガス株式会社／電源開発株式会社／中部電力株式会社／九州電力株式会社／北陸電力株式会社／ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社／東京電力リニューアブルパワー株式会社／株式会社INPEX／株式会社大林組／北海道電力株式会社／リニューアブル・ジャパン株式会社／関西電力株式会社 三菱地所物流リート投資法人／日本プロロジスリート投資法人 その他多数 サステナビリティボンド (独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構／株式会社大林組／沖縄振興開発金融公庫／キリンホールディングス株式会社 その他多数 ソーシャルボンド/エクイティ 株式会社学研ホールディングス／富士フイルムホールディングス株式会社 トランジションボンド/ローン 日本郵船株式会社／株式会社商船三井／住友化学株式会社／東京ガス株式会社／大阪ガス株式会社／株式会社JERA／出光興産株式会社／三菱重工業株式会社／九州電力株式会社 詳細は以下URLからご確認ください。 https://webmagazine.dnv.co.jp/sus_finance_list.html	http://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R3.pdf	DNVは、長年培ってきた環境技術や経験で得られた知見を基に、グローバル環境の改善による持続可能な社会の実現に加え、ESGファイナンスの発行体、借り手企業の社会的責任の達成や、更なるESGプロジェクト拡大の支援を行うことを表明します。	<input checked="" type="checkbox"/> GB <input checked="" type="checkbox"/> SusB <input checked="" type="checkbox"/> SLB <input checked="" type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> SLL	部署名 : 神戸事務所(本部)サステナビリティ・サービス部 電話番号 : 078-291-1321 E-Mail : ssj@dnv.com HPアドレス : https://www.dnv.jp/
株式会社日本格付研究所	当社は、グリーンボンド評価(外部レビュー)を5段階の記号及び評価レポートの形で提供しております。「JCRグリーンボンド評価」は、国際資本市場協会(ICMA)のグリーンボンド原則及び環境省のグリーンボンドガイドラインに準拠しています。 評価の対象は、GBP及びガイドラインで例示されているグリーンプロジェクト等を資金使途とする債券・ローン等の資金調達手段で、対象となる発行体の業種や分野には、次のものを含みます。 ①事業法人、金融機関、政府、地方公共団体、国際金融機関、政府系機関 ②プロジェクトファイナンス ③投資法人 ④資産流動化 「JCRグリーンボンド評価」は、以下の3つのフェーズに分けて行います。「第1フェーズ」では、対象債券等の「グリーン性評価」を行います。まず、対象プロジェクトがグリーンプロジェクト適格か否かを審査します。グリーンプロジェクトに該当すると判断されれば、調達資金のグリーンプロジェクトへの充当割合に着目した評価を行います。「第2フェーズ」では、「管理・運営・透明性評価」を行います。発行体の管理・運営体制及び透明性について評価し、グリーンプロジェクトの実施や調達資金の使途等に関する計画実行の確かさ及び一連のプロセスの開示度(上記「グリーン性評価」実現の確かさ)を判断します。「第3フェーズ」では総合評価を行い、「JCRグリーンボンド評価」を決定します。	平成29年度環境省グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例のガイドライン適合性確認業務(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構) *イー・アンド・イー・ソリューションズ、Sustainalytics社と共に実施。 平成30年度環境省グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例のガイドライン適合性確認業務(日本郵船株式会社、三菱地所株式会社) *イー・アンド・イー・ソリューションズと共に実施。 カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人の長期借入に対するJCRグリーンボンド評価の実施。	http://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R4.pdf	弊社は1985年の設立以来、一貫して信用格付の提供を通じ、資本市場に貢献してきました。グリーンボンド評価実施に際しては、信用格付業における財務分析、業界特性や商品特性、ESG要素に対する当社の知見を活かし、また、当社が提携している国内外の環境コンサルティング・第三者認証機関等との協力を通じて、環境と財務の知見を兼ね備えた専門家集団による質の高いグリーンボンド評価サービスを提供します。	(更新中)	グリーンボンド／ESG評価部 電話番号 03-3544-7019 E-Mail: kajiwara@jcra.com kikuchi@jcra.com HPアドレス https://www.jcr.co.jp/greenfinance/

社名	(発行等支援)業務概要	(発行等支援)実績	発行支援表明	自社紹介文	取扱商品	連絡先
ムーディーズ・ジャパン	<p>ムーディーズ・ジャパン株式会社は、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドをはじめとする資金使途限定型およびサステナビリティ・リンク・ボンドをはじめとする資金使途非限定型のサステナビリティ性が認められる金融商品の資金調達支援業務として、セカンド・パーティ・オピニオン(SPO)を提供しています。2019年に欧州のESG評価機関Vigeo Eirisを買収し、22年10月からは信用格付け業務を行う傘下企業に統合しました。2012年以降、旧Vigeo Eiris提供のSPOを含み、30か国以上で680件を超えるSPOを発行しました。</p> <p>弊社のSPOは、国際資本市場協会(ICMA)をはじめとする各団体が公表している原則等との適合性を評価しています。評価軸は、グリーンボンド原則等との適合性を評価する「原則との適合」、資金使途やKPI・SPTがどのようにサステナビリティに貢献するのかを評価する「サステナビリティへの貢献度」、およびこの2つを組み合わせた「サステナビリティ・オリティスコア」があります。「サステナビリティ・オリティスコア」は、金融商品/フレームワークの質に関する弊社の意見となります。</p> <p>弊社はお客様を第一に考え、最高品質のサービス、経験および専門性を提供するよう取り組んでいます。</p>	<p>日本国内におけるセカンド・パーティ・オピニオン提供実績(グローバルでは2012年以降、旧Vigeo Eiris提供のSPOを含み、30か国以上で680件を超えるSPOを発行してきました)</p> <p>トヨタ自動車株式会社(2021年) 伊藤忠商事株式会社(2021年) 本田技研工業株式会社(2022年) 地方公共団体金融機構(2022年) 独立行政法人国際協力機構(2023年) 株式会社デンソー(2023年)</p>	http://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R6.pdf	<p>ムーディーズ・ジャパンは、ムーディーズ・グループの信用格付会社グループである Moody's Investors Serviceの一角をなし、グローバルで一貫性のある分析手法に基づき、変化を遂げる ESG とサステナブル・ファイナンスのニーズに応えるセカンド・パーティ・オピニオンを提供しています。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> GB <input checked="" type="checkbox"/> SusB <input checked="" type="checkbox"/> SLB <input checked="" type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> SLL	<p>部署名 : コマーシャル部 電話番号 : 03-5408-4210 E-Mail : issuerrelationsty@moodys.com</p> <p>HPアドレス : https://ratings.moodys.io/spo</p>
ビューロー・ベリタス ジャパン株式会社 Bureau Veritas Japan Co., Ltd	<p>ビューロー・ベリタスは190年以上にわたり世界140か国以上で事業を展開し、検査・認証分野における確固たる地位を築いてきました。この長年培った技術的専門知識と国際的なネットワークを基盤として、世界各地でグリーンファイナンスの外部レビュー実績を重ねており、多様な市場環境や規制要件に対応した質の高いサービスを提供しています。</p> <p>グリーンボンド/ローン、サステナビリティリンクボンド/ローンなど、サステナブルファイナンス商品全般に対するセカンドパーティ・オピニオン(SPO)の提供を通じて、発行体企業のサステナビリティ戦略の実現を支援します。加えて、温室効果ガス検証業務なども展開しており、プロジェクトの環境効果測定から資金調達後のモニタリングまで、一貫したサポートが可能です。</p> <p>独立した第三者機関として、グリーンウォッシュの排除と市場の透明性確保に重要な役割を担っています。当社の厳格な評価プロセスは、投資家と発行体双方にとって信頼できるESGファイナンス市場の発展に貢献し、持続可能な社会の実現を支援します。</p> <p>グローバルな専門性と地域に根ざした知見を融合させ、お客様のサステナブルファイナンス活動の成功をサポートいたします。</p>	<p>ビューロー・ベリタスグローバルで多数の実績があります。</p> <p><グリーンボンド/ローン> ・Mantiqueira agricultura regenerativa S.A. ・L&T INFRA FINANCE 等</p> <p><サステナビリティリンクボンド/ローン> ・Mindspace Business Parks REIT ・JK Tyre & Industries Ltd 等</p>	https://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/registration-list/R9.pdf	<p>ビューロー・ベリタスは、グローバルな検査・認証大手として、世界各国での経験と専門知識を活かし、信頼性の高いグリーンファイナンスの外部レビューを提供しています。今後も、ESGファイナンス評価とESG関連サービスを強化し、持続可能な社会実現へ向け、客観的で公正な第三者評価を行います。国際ネットワークと専門性を活用し、グローバル基準に基づく質の高い外部レビューで、市場の透明性と信頼性向上に貢献します。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> GB <input checked="" type="checkbox"/> SusB <input checked="" type="checkbox"/> SLB <input checked="" type="checkbox"/> GL <input checked="" type="checkbox"/> SLL	<p>部署名 : カスタマイズドサービス部 電話番号 : 045-227-8140 E-Mail : csd.yok@bureauveritas.com HPアドレス : https://www.bureauveritas.jp/certification/green-finance</p>